

定例教育委員会（2月度）議事録（要点筆記）

1. 開会及び閉会に関する事項

○開催日時 令和8年2月10日（火）
開会 15時15分 閉会 17時05分

○開催場所 直方市役所 8階 第808会議室

2. 出席者及び欠席委員の氏名

○出席者 教育長 山本 栄司
教育委員 篠田 尊徳 中野 昭子
矢野 愛

○欠席者 教育委員 内藤 誠治

3. 教育長、教育委員および傍聴人を除く外、出席した者の氏名

教育部長	宇山 裕之	こども育成課長	岩尾 栄子
学校教育課長	林 教司	文化・スポーツ推進課長	舩越 健児
学校教育課管理主事	井手上 大輔	教育総務課長	石橋 剛
規模適正化推進係長	青山 斉史	学校教育係長	守田 雄樹
社会教育係長	角田 元	教育総務係長	天野 浩輔

4. 教育長の報告

別添資料参照（教育委員会行事報告、教育委員会行事予定）

5. 議題及び議事の概要

○議案（議案書は別紙）

議案番号	内容	結果
主管課	趣旨	
議案第 23 号	令和 8 年度直方市教育施策要綱について	継続 審議
各 課	提案根拠…直方市教育委員会事務委任規則第 2 条第 1 項第 1 号 議案概要…令和 8 年度直方市教育施策要綱について、目標な内 容の変更、指標・目標値の設定等を行った。 ※詳細は資料を参照	

委員意見質問

中野委員 主要施策 5 の学校運営協議会について、参加者はどれくらいなのか。

林課長 委員はほぼ参加されている。学校によって学校運営協議会の委員の数に若干の違いがあるが、規則で 10 人以内とされている。実施回数は学校により違いはあるが、施策要綱でも 3 回を目標としており、どの学校も 3 回は開催している。

中野委員 中泉小学校の参加者はどれくらいか。

林課長 中泉小学校は指定校になっていない。

中野委員 指定校は何校あるのか。

林課長 小学校 6 校となっている。

篠田委員 主要施策 1 で日本語指導が必要な児童生徒への支援の推進という項目が盛り込まれているが、実際、直方市内でその必要性がある児童生徒はどれくらいいるのか。

林課長 9 月時点で 16 名である。

篠田委員 指導する教員は、どこかの学校に常駐しているのか。

林課長 今年度は県費負担の日本語指導教員として、新入小学校に 1 名配置しており、要請があった学校に支援に行く形となっている。近年支援を希望する児童生徒が増えていることから、市費で 1 名配置することが決まっている。

篠田委員 新入小学校に視察に行った際に拝見したが、こういう時代になったんだなと感じたが、今後さらに増えることが予想されるのか。

林課長 直方市内で外国籍を有する方が 1,000 人を超えている状況であり、児童生徒の数も増えているの現状である。

篠田委員 支援の必要がない児童生徒もいるのか。

林課長 支援が必要ということで申請をされている児童生徒の数が 16 人である。

篠田委員 国籍を考えると、英語圏ばかりではないと思うので、対応が大変ではないか。

林課長 実際はタブレットに翻訳アプリを入れて対応をしているが、アプリに入っていない母語の方もいて、かなり大変のようだ。

中野委員 主要施策6の体育館空調整備事業で、設置する学校の基準はあるのか。

石橋課長 中学校については、地域も分散しており、防災の観点からも全校設置することとしている。小学校については、地域的な観点から、それぞれの中学校区から1校ずつになっている。あとは分散を図りつつ、学校規模観点からして、今回整備する学校は規模適正化の中でも今後残っていくであろうし、下境小学校は教育委員会の方針により集約を図っているという部分がある。今回、中学校より小学校の方を後で補助金の申し込みを行ったが、国の施策として、電気に比べガスにかなり有利な率の施策が出てきたので、それで小学校4校を追加できたということもある。

中野委員 残りの小学校の体育館にも設置される可能性はあるのか。

石橋課長 設置校については、規模適正化基本計画との整合が取れないといけない。今回、文部科学省の補助金を使っており、その予算を使ったのに、わずかに数年後にその学校がなくなるといことになる、返還しないといけないということもある。それなら別の有利な補助金等もあるので、そちらを使って整備していくということもあるので、それは市長部局の財政課等と相談しながら、何を残すのか、何を整備するのかというところになってくるかと思う。

中野委員 主要施策7について、④市民文化祭の活性化を図り、市民の文化活動の充実を目指すとあるが、8年度からは市民講座がなくなることだが、7年度の市民文化祭に参加して、やはり講座がないと、自主講座だけだったら出展数が集まらなかったというのは肌で感じたので、ちょっと矛盾するのではと思っている。市民講座をなくすというのは決定事項なのか。

船越課長 一応、今、自主講座でやっていただいている、市が主催する講座が以前あったが、保健福祉センターの建設の関係でちょっと一旦休講してる状況である。今、市主催講座でやったものの多くが自主講座として、今もう実際ここ2年ぐらい走っていて、運営ができていくという現状が一つある。

中野委員 実際は4、5人でぎりぎり運営している状況である。講師料と部屋代がかかり、寒かったり暑かったりすると空調費が高いので、皆さんもそこら辺は泣く泣く出し合ってるような状況なので、なんとか空調代や部屋代について、市民講座から卒業したような自主講座に対して少し便宜を図ってもらえれば、また違うかなと思う。本当に今、消滅しかかっている講座もある。その辺はいろいろ難しいところもあるとは思いますが検討できないか。

船越課長 生涯学習事業の推進の中で説明したが、主催講座という形で、それも一つの学びの入り口ということで進めていたが、いろいろなジャンルにわかれていて、割と狭いところで進めていくような事業だったが、ここは定期講座のような、広く一般の市民が学ぶきっかけを作れるような、広く門戸を

開くような形の講座を定期的開催するという形で、今回、そちらを充実させていこうというようなところで方針の転換が行われたというところが一つある。中野委員おっしゃるとおり、何らかの形で支援ができないかというところについては、我々も検討しないといけないと思っている。そういった活動されてる方の中で、いろいろ市にとっても有益なことができるような団体であるとか、一部そういったようなかで線を引く必要があるとは思いますが、何かしらの支援であるとか、そういったものができるかというのは検討の必要があると思っている。

中野委員 主要施策 10 について、①各団体及び庁内関係課と連携したスポーツ活動の促進の主催事業等の中に、スケートボードは入っていないのか。オリンピックの種目にも入ってるし、やってる子どもも多いが、する場所がないということをしごく憂慮している。何とか市でどこか場所を設けられたら、してはいけないところでなくてもいいし、安全性を保ちながら、そういうスポーツも推進していくというのも前向きなことではないかと思うが。

船越課長 スケートボードについては、いろいろ伺っているが、市としても、スケートボードができる場所がない状況である。たしかに駅前とか、車寄せのところとかでやられてるという話は聞いているが、今のところ場所がないこともあって、そういう教室、体験会を実施するときには、何らか市の方で場所を確保しないとできないので、そういったところがクリアできないと、なかなか難しい。その辺については今後の課題ということで考えている。

教育長 近隣ではどこかにあるのか。

船越課長 福智町にある。あとは中間市の河川敷にもあると聞いている。

教育長 問い合わせがあった場合は、そこを紹介しているのか。

船越課長 正式な場所としてはそうだが、あと民間で提供されているような場所も一部あるというのは聞いている。公的な部分でいくと、近くでは福智町、飯塚市とか中間市となる。

中野委員 そうなると子どもたちが自由に行ける距離ではない。お金のあるなしに関係なく興じるスポーツとしてできたら一番いいかなと思っているので、今後の課題だと思う。

篠田委員 ユメニティのおがたの改修について、私どもの幼稚園が毎年場所をお借りしてお遊戯会をしているが、来年度使えないので、代替施設を探していた中で、中間市のハーモニーホールならということで問い合わせをしたら、その時期改修に入っているということであった。それぞれの自治体で事情があるということは重々承知しているが、現場の声として、自治体同士でうまくずらして改修するといった調整ができないものかというのがあったので、今後もし考慮できるならということで申し上げておく。

船越課長 たしかに飯塚市のコスモスコモンが改修に入ったときは、直方市の利用率がぐんと上がったという事態はあるので、やはりそういう一定の規模のコミュニティホールでやってたものが、改修に入ってできなくなって、代わ

りの会場というのはやはり近隣で探すようなことになるのは重々承知はしているが、我々も中間市が同じタイミングで改修に入るといのは後で知ったところではある。財源であるとか、実際に改修に入る前にいろいろ準備作業があり、設計とか何年もかけてやってくるので、なかなかそれをうまく調整するというのは難しいところはあるかと思うが、そういう代わりの会場については、やはり配慮が必要だったといのは我々も反省しているところである。

教育長 委員の皆さんには、再度内容を精査していただき、意見をお伺いしたうえで、次回の委員会に諮りたいと考えている。

議案第 24 号	令和 7 年度 3 月補正予算について	可決
各 課	提案根拠…直方市教育委員会事務委任規則第 2 条第 1 項第 4 号の規定により提案 議案概要…補正予算の説明 ※詳細は資料を参照	

委員意見質問、特になし

議案第 25 号	令和 8 年度当初予算について	可決
各 課	提案根拠…直方市教育委員会事務委任規則第 2 条第 1 項第 4 号の規定により提案 議案概要…8 年度当初予算の説明 ※詳細は資料を参照	

委員意見質問

中野委員 体育館アリーナのエアコン設置について、なぜガス式なのか。

船越課長 ガス式を選択した理由としては、まずランニングコストが安いというところがある。それと災害に強いという大きなメリットがある。電気はやはり停電が起きるが、地震等があっても、ガスは断絶することがかなり少ないというふうに聞いている。また、もしガスの供給がストップしたとしても、プロパンガスを持ってくることで使用することができるということで、災害を想定したときに、避難所になっているので、防災上、やはりガスの方がいいだろうということでガス式を選択している。

議案第 26 号	直方市児童生徒就学援助規則の一部を改正する規則について	可決
学校教育課	<p>提案根拠…直方市教育委員会事務委任規則第 2 条第 1 項第 2 号の規定により提案</p> <p>議案概要…支給費目の新入学児童生徒学用品費について、支給額を小学校 64,300 円、中学校 81,000 円に増額する。</p> <p>※詳細は資料を参照</p>	

委員意見質問、特になし

○協議事項

なし

○報告事項

- 直方市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について【こども育成課】

報告概要…子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律により、子ども・子育て支援法に乳児等のための支援給付が創設されることと併せて、「乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準」の改正が示されたことに伴い条例の一部改正を行う。

※詳細は資料を参照

委員意見質問、特になし。

- 直方市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について【こども育成課】

報告概要…令和 8 年 4 月から乳児等通園支援事業が給付制度として実施されることに伴い、国から「特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準」が示されたことから、本市においても同基準を踏まえ、直方市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例を制定する。

※詳細は資料を参照

委員意見質問、特になし。

●直方市ハートフル奨学金条例を廃止する条例について【学校教育課】

報告概要…私立高校の授業料実質無償化などの公的支援制度の増加と、申請者数の減少により、事業の重要性が低下している状況から、8年度以降の事業の廃止することから条例を制定する。

※詳細は資料を参照

委員意見質問、特になし。

●直方市学校規模適正化基本計画に基づく複式学級解消について（経過報告）

【学校教育課】

報告概要…1月臨時教育委員会以降の経過の報告と、今後の予定について説明。

※詳細は資料を参照

委員意見質問、特になし。

○その他

●3月行事について【学校教育課】

委員意見質問、特になし。

●小・中学校卒業式（案）【学校教育課】

委員意見質問、特になし。

●会議録署名委員の指名について

矢野委員を指名

6. 閉会

(署名)
直方市教育委員会教育長

山本栄司

(署名)
直方市教育委員会教育委員

灰野 葵
